

令和4年度第一回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和4年8月18日(木)に、当研究所において令和4年度第一回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事前評価7件、中間評価1件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

令和5年度から研究を開始する富士山研究、基盤研究、特別研究および成長戦略研究の7課題に係る事前評価、令和3年度に開始した成長戦略研究1課題に係る中間評価を行いました。

【事前評価 7件】

[富士山研究]

- ① 富士北麓地域における侵略的外来植物の防除支援システムの開発と社会実装に向けた研究 (R5~R7)
- ② 富士山における落石事象の現地観測技術の開発と落下過程の解析 (R5~R7)
- ③ 富士山の最近5,600年間の主要テフラ層序に関する研究 (R5~R7)

[基盤研究]

- ④ 富士北麓の採取文化が維持されてきた社会的背景に関する研究 (R5~R7)
- ⑤ 自然災害にかかる継続的な学校防災計画改善に関する研究 (R5~R7)

[特別研究]

- ⑥ 効果的な火山防災マップのあり方に関する研究 (R5~R6)

[成長戦略研究]

- ⑦ 富士山の山岳ハザード検知のための空振観測研究 (R5~R7)

【中間評価 1件】

[成長戦略研究]

- ⑧ 富士山の災害対応に資する管理者向け情報共有プラットフォームの整備 (R3~R5)

3 研究課題に対する評価結果

(1) 新規課題7課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.4~3.9(平均3.7)で、全ての研究課題とも、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

(2) 成長戦略研究・中間評価1課題に対する総合評価点(5段階評価)は3.7で、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和4年8月1日～令和6年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石原 和弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大山 勲	山梨大学大学院 教授	地域・都市計画学
委員	松本 英昭	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	田中将志	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森口 祐一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

令和4年度 第1回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時：令和4年8月18日（木）10：30～

場所：富士山科学研究所 本館棟 ホール

評価区分	研究種目	課	題	名	期間	評価点
事前評価	富士山研究	1	富士北麓地域における侵略的外来植物の防除支援システムの開発と社会実装に向けた研究		R5 ～ R7	3.8
		2	富士山における落石事象の現地観測技術の開発と落下過程の解析		R5 ～ R7	3.7
		3	富士山の最近5,600年間の主要テフラ層序に関する研究		R5 ～ R7	3.8
	基盤研究	4	富士北麓の採取文化が維持されてきた社会的背景に関する研究		R5 ～ R7	3.4
事前評価	基盤研究	5	自然災害にかかる継続的な学校防災計画改善に関する研究		R5 ～ R7	3.9
	特別研究	6	効果的な火山防災マップのあり方に関する研究		R5 ～ R6	3.5
	成長戦略研究	7	富士山の山岳ハザード検知のための空振観測研究		R5 ～ R7	3.5
中間評価	成長戦略研究	8	富士山の災害対応に資する管理者向け情報共有プラットフォームの整備		R3 ～ R5	3.7